

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2872000845		
法人名	医療法人社団 弘成会		
事業所名	ライフ明海グループホーム		
所在地	兵庫県明石市藤江 205-3		
自己評価作成日	平成22年6月1日	評価結果市町村受理日	平成22年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-hyogo.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2872000845&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	姫路市安田三丁目一番地 姫路自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成22年6月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者の思いに耳を傾け、ゆったりとした時間の中で利用者一人ひとりのペースで日常生活を送ってもらえるよう支援している
--

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

藤江海岸に面し、自然環境に恵まれた絶好の立地条件下のホームである。入居者はグループホームに隣接している同じ法人の医療機関、老人保健施設や歯科クリニック等の機能の活用ができ、二週間に一度、法人病院院長の診察があり、また、週に何回もリハビリが実施されるなど、健康維持には申し分のない環境である。大法人内でグループホームと云う他部門とは異なった異色協働生活体機能を発揮出来るか、周囲の理解を得る工夫が期待される。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および第三者評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいて実践に向け取り組んでいる。それぞれの家族の事情等ふまえ、出来る事の支援をしている	ホーム内に理念を掲示して居住者、ご家族、職員や来訪者等含め関係者全員に日常生活の在り方と意義を共有して、互いに理解し合っている。	重要事項説明書の理念表示と現場の表示は合致される事が望まれる。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	立地条件が不利なため、日常的にはないが交流が途絶えないようにしている	付近の民家は離れて少ないが、ホーム近接の畑の耕作者との会話は日常的に努めている。利用者は近在の方が多く、各地域での敬老会等への参加支援に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人全体の勉強会、家族会等を通して行っている	/	/
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員や家族からの意見や要望等をサービスに活かすように心掛けている	ボランティア代表(民生委員でも在る方を複数人含む)家族、事業所関係者で二ヶ月毎の開催を目標としているが報告事項が多く双方の意見交換は少ない。	評価対象期間の運営推進会議録複数の事業所内保存が望まれる。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者とは連絡を密に取り、協力関係を築くように取り組んでいる 21年度はライフ明海グループホームスプリングラー設置事業を補助して頂きました	法人組織として市関係部門、担当者と接触の機会も多く、密に連携している。事業所としては本年4月末にスプリングラー設置工事も完了している。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロを実践している	マニュアルで繰り返し学習して身体拘束ゼロを達成している。	法人内外での研修や学習会記録の事業所内での整備保管が望まれる。
7	(6)	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に努めている 家人の面会時や外泊から戻った時など特に注意している	マニュアルで繰り返し学習して虐待防止に努めている。	

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の理解はしている 必要性のある利用者には活用できるよう支援している	実際に制度の活用をされた方が居た事もあり、職員は制度を理解して支援出来る体制である。	
9	(8)	契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所・退所に関わらず相談する機会を設け、本人及び家族等に十分説明し理解と納得を図っている	現在の入居者は全員同一法人の老健施設からであり、異なる点等も含め詳細に説明して同意を得るシステムと成っている。	
10	(9)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本人及び家族等からの意見、要望をその都度職員が聞き話し合いの場を設け対処している	家族会立ち上げの呼び掛けも利用者皆様の賛同が得られず立ち消えた。利用者、家族等からの意向は日常的に管理者が吸い上げに努め、所属する法人の主任会 幹部会へ提起して事業所の運営に活かしている。	
11	(10)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の気付きを申し送りの中やミーティングの中で意見として出し、話し合う機会を設け反映させている	日常業務処理の申し送りや会合等で意見交換して対応している。	運営改善事項は組織として徹底を図る為にも提案事項として記録に留める工夫が期待される。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績等を評価し給与・賞与等に反映 21年度からは介護職員処遇改善交付金制度を実施、職場環境条件の整備に努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内の勉強会、講習、職員一人ひとりのスキルアップに向け資格取得や認知症の研修等進めている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	明石市介護サービス事業者連絡会に参画し同業者との交流を図り、勉強会、研修等を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15			初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ゆっくり話をする機会を作り、本人の思いや訴え要望等を聞き、受け止める努力をしている		
16			初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談しやすい雰囲気や環境を作り家族等の思いや要望等をよく聞き、受け止める努力をしている		
17			初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応として、まず必要と思われる支援を見極めるよう努力をしている		
18			本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中でのちょっとした工夫、節約、昔ながらの方法など教えたり教えてもらったり、意見を出し合ったりしている		
19			本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日々の様子や現在の気持ち等を家族に伝え、少しでも利用者の思いが叶うよう、無理のない範囲で協力をお願いしている		
20	(11)		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人、家族等の希望により、外泊、外出、結婚式、墓参り、法事、美容院など協力が得られている	現在月一回の買い物行事が職員の支援で実施されている。来訪者が有る利用者の部屋にはお茶を差し入れする。利用者の外出は家族に支援をお願いしている。	
21			利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が話し合える機会を大切にし、スタッフが見守りを行っている 難聴者にはスタッフがパイプ役となる事に関係が築いていけるよう支援している		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22			関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も気軽に立ち寄って頂く様声掛けし、相談や近況報告を受けたりしている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(12)		思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望等の把握に努め、言葉に出して表現できない人に対しては表現や動作、日々の行動からくみ取るようにしている	職員は日常業務中常に利用者の意向吸い上げに努めており、表出し難い利用者には相性の良い職員が更にアプローチを重ねている。	
24			これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴等得た情報はアセスメントに記入し、情報を共有している		
25			暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人に声をかけながら、その日の状態を把握する。声のトーンや表情、動作等も含め観察を行い、スタッフはその情報を共有し対応している		
26	(13)		チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の状態を本人、スタッフと話し合いながら本人が望む生活を主に介護計画を作成している	定期的には利用者毎、三ヶ月毎に担当者会議(ケアカンファレンス)を管理者の下に開いて介護計画の見直しを行なっている。必要時はその都度同様に対応している。	
27			個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子等は個人のカルテの介護記録に記入し情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている		
28			一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院併設老人保健施設と介護保険サービスを複数運営しているのもその時々ニーズに対応できている 柔軟な支援やサービスに取り組んでいる		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29			地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的又は不定期にボランティアグループ等に来所してもらい、利用者や家族は交流を楽しみにしている		
30	(14)		かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を希望する場合は、診察等を受けやすいよう配慮をしている	利用者全員が法人病院院長をかかりつけ医としており、二週間に一度の診察を受けている。なお一名の専門医への通院は家族が行なっている。	
31			看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護師による健康チェックを実施し、利用者自ら不安な事等相談し助言をもらっている		
32	(15)		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	同法人内の地域連携室を通して行っている	当グループホームは同法人内では一部署であり対外事項は同法人の地域連携室が支援してくれている。	
33	(16)		重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	段階において、何度も話し合いの機会を設けている	本事項は入居時に確認同意書を頂いて利用者の意向に副う事としている。	
34			急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルがあるのでマニュアルどおりの対応を行っている		
35	(17)		災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回夜勤者対象の防火訓練と利用者も一緒に避難訓練も行い、スプリンクラーも設置している	本年4月末にはスプリンクラーが完備された。発煙、発熱感知時は同時に近接の同法人老健施設に通報され、法人全体の支援を受ける仕組みである。	

自己	者 第	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの対応に気をつけている その人に合った声掛けを工夫している	マニュアルを遵守して和やかに支援しており、ホーム全体の雰囲気も穏やかであった。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合せた意思決定の場面を作るようにしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大きなスケジュールはあるが、あくまでも利用者本人の希望に添うよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔で季節に合った衣類を着てもらえるよう、さりげなくアドバイスをしている		
40	(19)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの持てる力を活かしながら行っている 疲れたり、負担にならないよう配慮している	同席した昼食は利用者皆さん美味しいと完食されていた。昼食は利用者によるメニュー決めより参画して、三人が調理にも加わって、ホーム独自の食事を準備している。朝、夕は同法人の厨房より運んで盛り付けをホームで行なっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士、看護師と相談し、一人ひとりに合った支援をしている。夏場は特に水分補給を促している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	習慣として身につけている人、声掛け、見守りが必要な人、介助が必要な人等、その人に合った支援をしている		

自己	者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	便通の薬の調整、定期的なトイレ誘導等、その人に合った支援を心がけている	紙パンツ着用者が三名いるが排泄実績表を活用して誘導に努めている。ポータブル使用者もこの誘導でトイレ使用が可能になっている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で確認し、医師、看護師と相談しながら、飲食物の工夫、水分補給、運動、マッサージ等でその人に合った支援に努めている		
45	(21)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日はあらかじめ決めているが、順番はその日によって違う 一人ひとりゆっくりと入浴してもらっている 足浴や清拭も行っている	各人週2回午後1時～4時の間で一人ひとり職員付き添いで入浴している。シャワーと就寝前の足浴は希望者が利用可能である。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠不足だったり、疲れた時は居室で横になったり、早目に就寝したり、一人ひとりの状況に応じた支援をしている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	少しでも変化に気付いたら、母体病院医師、看護師、訪問看護師に相談し対応している また、その記録も記入している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や裁縫が得意な人、歌が好きな人、絵画や書道が好きな人等楽しみごとを活かせるよう、その人に合った支援をしている		
49	(22)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族と一緒に買い物、食事、ドライブ、日帰り旅行等の支援 散歩や中庭での日光浴もしてもらっている	月一回の買い物は職員支援の下に出掛けている。その他の外出は家族の支援で実施されている。	玄関を出ると其処は気持ちの良い藤江海岸です。日常的な軽い散歩支援が期待される。

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50			お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おこづかい程度に所持されており、日常必要な物や買い物ツアーの時の購入品の代金など支払う時に支援している		
51			電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の家族等の面会が多い為利用する人は少ないが電話をかけたい人は詰所からかけてもらう		
52	(23)		居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先には、休める椅子を配し、食堂には花が活けてあり、ディルームは自由に使える、マッサージ機も好きな時に使用できる新聞も自由に読んでもらっている	ホームのある環境が太陽が燦爛と明るく建物もゆったりとした平屋で玄関に置かれた腰掛や広々とディルームにマッサージ椅子等落ち着いた空間が配置されていた。	
53			共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間はドアがいつでも開いていて、自由に使用できる状態になっている 一人で色塗りしたり、折り紙、写経、数人で雑談など思い思いに過ごしている		
54	(24)		居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内での動きの妨げにならない程度に、使い慣れた家具、時計、絵等置いてもらい、落ち着いて居心地よく過ごせるよう工夫している	ベッド、テレビ台を兼ねた三段引き出し、クローゼットはホーム備え付けであるが、その他の空間を活用した個人の持ち込み品も部屋に調和させて整理している。部屋に置かれたホームの二脚の椅子は日常に来訪者の在る事がうかがわれた。	
55			一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりに合った支援を心掛け、できる事を継続して行えるよう、工夫しながら対応している		